

# 平成 27 年度 第 4 回磐田市総合教育会議 会議録

日 時 平成 27 年 8 月 24 日（月）午後 4 時～午後 5 時

会 場 磐田市役所 西庁舎 3 階 特別会議室

出席者 市長、教育長、杉本憲司委員、青島美子委員、田中さゆり委員、秋元富敏委員  
（出席者 6 名）

事務局 企画部長、教育部長、秘書政策課長、教育総務課長  
秘書政策課政策推進グループ長、同課同グループ主査、  
教育総務課児童・総務グループ長、同課同グループ主任

傍聴者 2 名（一般 1 名、報道機関 1 名）

## [会議次第]

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議事項
  - (1) 磐田市教育大綱の詳細について
  - (2) 今後の会議の開催について
- 4 閉会

[協議の主な内容]

磐田市教育大綱の詳細について（事務局説明）

市長 大綱対象期間の確認、制定日、制定年月の記載についてですが、委員の皆さんのご意見をお願いします。

委員 大綱の変更等については、総合教育会議で随時行おうと考えてよいか。

事務局 総合教育会議で協議していただきます。

市長 会議の開催の流れはどうか。

事務局 原則、会議の招集は市長がおこないますが、委員から会議の招集を求めることも可能です。その場合は事務局にご連絡をお願いします。

委員 大綱完成後は何か手順を経ないといけないのか。

事務局 特にありません。この会議で決定となります。

市長 **【確認事項】**

対象期間 “なし”

制定日 平成27年8月24日

記載 宣言文の下、制定年月の記載

委員 (一同 同意)

市長 つづいて、リーフレット案についてです。  
一般の方、学校関係者、保護者を配布対象とするものですが、いかがでしょう。

委員 参考資料の道しるべとこども憲章の関連表ですが、分類の仕方で事務局として苦勞した点はどこですか。

事務局 道しるべにはいろいろなエッセンスがあるため、大綱の6つの理念的言葉のどこに位置付けてもよかったが、バランスを考えて割り振りをした。

委員 大綱はこども憲章、道しるべを基に作ったものだが、こども憲章、道しるべはそれぞれ独立したものであり、大綱との関連表はなくてもいいように思います。

委員 大綱の成り立ちから、道するべとこども憲章を基に作られたということは残しておく必要があると思うが、一般向けには関連表は必要ないと考える。

市長 誰に見せようとしているのかということになると思います。  
道するべは学校の先生を中心に学校で、こども憲章は地域を含めて市民みなさんへとしている。  
学校、保護者、地域のみなさんにより分かりやすく、最低限伝えたい内容をまとめたものにするのが大切。

教育長 体系図のねらいの部分に関連表の文言を入れて主な施策につなげる方がまとまると思う。  
位置付け図は、教育大綱を上にし、道するべとこども憲章を下にもっていくとつながりが見えるようになると思う。

委員 一般市民向けには直感的にわかるものにしないと伝わらない。  
例えば、挿絵等を用いて位置付けなどを表した方が理解してもらいやすいと考える。また、学校用、市民向けに内容を分けた方がよいと思う。

市長 参考資料の3ページは内容が重複している部分がある。余分なところはそぎ落とすことが必要。

事務局 広報いわたには、A4の半ページのスペースで教育大綱制定の経緯と宣言文、6つの理念的言葉を掲載する予定です。

委員 お知らせ的な掲載では市民は理解ができないし、伝わらない。教育大綱の意味、道するべ、こども憲章の位置付けを簡単に分かりやすくまとめ、全戸配布することで市民に伝わるものになると考える。

市長 広報に掲載することが目的ではなく、理解してもらうことが目的であって、中途半端では伝わらないという意見だと思います。  
関係者がどういう思いで道するべ、こども憲章を作り、今回、集大成で教育大綱が制定となり、これで磐田の教育を地域のみなさんとともに頑張っていくというイメージが必要だということだと思います。

委員 なんで半ページなのか。遅くなっても大々的に見開きで掲載してもよいと思う。

市長 教育の特集をやったらどうか。  
今、子どもたちに何が必要で、保護者、学校、地域に協力してもらいたい

ものが何かなど、道しるべ、こども憲章、教育大綱制定の思いなどをA4、4ページ程度の特集にしたらどうか。

スペースがないということでA4半分の掲載では本末転倒である。

事務局 広報と相談して今年度中で特集の掲載を検討します。

委員 各公会堂、自治会の掲示板など市民の目につく所にポスター等の掲示をお願いしたい。

市長 役に立ててもらうために作るリーフレットであるため、一般向け、学校用で内容を分けても良いと思う。

今、なぜ頑張らなくてはいけないかということを感じてもらえるものとなればと考える。

市民の皆さんは今の社会状況を理解している。もう一步踏み込み、協力しようというイズムを浸透させる手段が、リーフレットや看板、ポスターであると思う。

委員 学校や家庭だけでなく、地域と一体となって子どもたちを育てることで、結果として地域の大人も育っていく。地域の子は地域で育てていくという視点は大事なことである。

委員 駅やコンビニにポスターを掲示し、他市の人にも磐田市の取組みがわかるようにすれば、子どもたちの不幸な事件はおきないと考える。

市長 磐田市全域において啓発する姿勢が必要である。

事務局 効果的な啓発の方法を考えます。

「今後の会議の開催について」（事務局説明）

市長 庁内で検討して、方向性についてみなさんの意見を伺い、次回の会議の日程を調整してください。

事務局 次回会議の予定ですが、来年の2月に開催の予定をしています。必要に応じて皆様の意見をお聞きする場合は、追って連絡させていただきます。

以上をもちまして第4回磐田市総合教育会議を終了いたします。

ありがとうございました。